

地域支援可能シーズのタイトル：

課題解決等の業務支援/簡易設備診断装置開発/設計手法見直し



(ふりがな) 氏名	おおにし しょうさく 大西 祥作	E-mail	ohnishi@tokuyama.ac.jp
		電話番号	0834-29-6274
職名	教授	FAX 番号	0834-29-6274
所属学会・協会	日本機械学会、日本原子力学会、日本技術士会、日本設備管理学会他		
	学位・資格	技術士（機械、原子力・放射線、総合技術監理）	

地域支援可能シーズの名称および概要

a) 課題解決等業務支援

35 年間原子力プラントメーカーにおいて主に①装置&設備の計画から現地試験対応、②プロジェクト管理に係る業務を経験しており、企画・見積から保守・保全までのあらゆる事柄に関する実務的な課題解決について支援が出来ます。また、技術士として「総合技術監理部門」の資格を有しており機械及び原子力関連の技術的課題のみならず、プロジェクトマネジメントの観点からもアドバイスが可能です。主な技術的支援可能内容を以下に記載します。なお、以下に記載がない場合にでもまずは遠慮なくご相談ください。

- 1) 設備や装置に係る不具合調査、対策立案に係る相談
不具合を解決する手法である FTA（故障の木解析）やなぜなぜ分析等のアプローチ法の仕方を支援可能
- 2) 設備や装置に係る企画・見積・契約に係る相談
大きなものから小さなものまで各段階（企画、見積、受注・契約）における注意事項について支援可能
- 3) プロジェクト業務（期限のある非定形業務）に係る相談
5つの観点を踏まえた全体最適を目指すプロジェクト管理の考え方を具体化する方法を支援可能
- 4) 設備や装置の保守&保全計画
設備や装置に適した保守計画や保全計画の立案、実施、フォローについて支援可能
- 5) 設備や装置に係る耐震設計
設備や装置に要求される耐震性を確保するための計画や設計・評価方法について支援可能
- 6) 原子力全般に係る相談
以下の事項に係る一般的な相談ごとについて支援可能
・原子力発電 ・核燃料サイクル（特に再処理、MOX 燃料製造） ・原子力安全
- 7) 技術士や PE (professional engineer) (アメリカの技術士)の資格取得に係る相談
技術士や PE の資格取得の要件や勉強方法について指南可能

b) 簡易設備診断装置の開発

現在、学生の卒業研究として機械設備の保守スキルを身に付け、向上させるための簡易診断装置の開発を行っています。まだ開発の途上ですが、この診断装置は機械・電気要素を持つ単純な機械を用いて振動法による機械保守の原理や考え方を学習できるものです。設備診断に興味がある方は、当方まで声を掛けてください。企業の方のニーズ提供や情報提供を歓迎いたします。



c) 機械設計手法教育の研究

顧客ニーズの掘り起こしから保守・保全&廃棄までの製品プロセス全般にわたる広義の設計プロセスについて関心があり研究に取り組み中です。設計プロセスを見直したいあるいは、なにかいい方法はないかとお探しの方はご相談ください。

適用実績

35 年間勤めた原子力プラントメーカーでは、多々有
2017.4 に徳山高専に赴任して来たばかりであり、2017.4 以降の適用実績は現状なし。

提供可能な設備・機器・解析ソフト・教材・ビデオ・PPT 等の名称・型番（メーカー）及び概要

オシロスコープ メーカー：OWON SDS1022